



東京地区生コンクリート協同組合  
〒103-0027東京都中央区日本橋3丁目2番5号  
電話番号 (03)3271-2181  
URL:https://www.t-namakyo.jp/  
発行責任者 高村尚

## ＝協組の動き＝

(4月)

13日(月) 理事会 (No. 1257)

27日(月) 理事会 (No. 1258)

(5月)

11日(月) 理事会 (No. 1259)

25日(月) 通常総会 (第50回)

### 【第50回 通常総会】

日時：5月25日(月)

12時30分～

場所：第一ホテル東京

### 【合格者追加のお知らせ】

まだ397号にて2025年コンクリート技士試験合格者を掲載いたしましたが、東京エスオーシー(株)からも1名の合格者がいらっしゃいましたので、ここに掲載させていただきます。

【追加】コンクリート技士合格者

(敬称略)

社名	氏名
東京エスオーシー(株)	寺島 龍介

合格おめでとうございます!

東京協組内の技士合格者は計18名となりました。

## 2026年度登録販売店 28社決定

当協組は2月に契約更新に関する数量基準と共販取り組み姿勢等を踏まえて登録販売店全29社と2026年度の取引方針に関して個別に協議を行い、28社と登録販売店取引基本契約を更新致しました。

尚、2026年4月1日付けで「スミセ建材(株)」が従前の登録販売店「(株)ブラスト」の建材事業を会社分割により事業承継しております。

(五十音順)

1 芦沢商事(株)	11 スミセ建材(株)	21 日立資材販売(株)
2 安藤物産(株)	12 大同建材産業(株)	22 (株)ファノス
3 上原成商事(株)	13 太平洋セメント販売(株)	23 藤田商事(株)
4 SKマテリアル(株)	14 塚本建材(株)	24 (株)三田商店
5 NC建材(株)	15 (株)土金	25 三谷商事(株)
6 MUCC商事(株)	16 ティーシートレーディング(株)	26 (株)三好商会
7 (株)オダ	17 テッケン興産(株)	27 山一興産(株)
8 三信通商(株)	18 東信建材(株)	28 吉田建材(株)
9 ジャパン建材(株)	19 トクヤマ通商(株)	
10 住商セメント(株)	20 野原産業セメント(株)	

## 登録販売店実務担当者会議を開催

### -特殊コンクリート需要急増に伴う供給対応について説明-

2026年5月以降、東京都心における「軽量」、「超高強度」、「低炭素型」の3つの特殊コンクリートの需要が急増することから、当協組は3月17日(火)、26日(木)、31日(火)の3回に分けて登録販売店の実務担当者会議を開催し、供給対応や納入予定の留意点を周知する為に説明をしておりますので、以下のとおり概要をお知らせ致します。

#### 1. 2026年度の特特殊コンクリート需要について

(1) 軽量骨材を使用する軽量コンクリート  
→ 約 120,000 m<sup>3</sup> (前年度対比 1.3 倍)

(2) シリカヒュームセメントを使用する設計基準強度 80N 以上の超高強度コンクリート  
→ 約 60,000 m<sup>3</sup> (前年度対比 2.5 倍)

(3) 高炉スラグ微粉末を混入する低炭素型コンクリート  
→ 約 100,000 m<sup>3</sup> (前年度対比 3.7 倍)

#### 2. 供給対応について

(1) 原材料の供給について

軽量骨材、シリカヒューム、高炉スラグ微粉末ともに、供給メーカーに確認した処、

2026年度中の必要量は何とか供給可能ではあるものの、余裕が有る状況にはない。

(2) 製造出荷対応について

3つの特殊コンクリートを使用する物件が千代田区・中央区・港区・品川区に集中することから、需要地に近い沿岸部に立地することから、需要地に近い沿岸部に立地することから、3種類ともに対応可能な工場は極めて限定されることから、供給が逼迫する可能性が高くなる。

#### 3. 納入予定精度向上の必要性について

特殊コンクリートの製造出荷対応の増大に伴い、普通コンクリートの製造出荷対応日にも制約が出ることから、特殊コンクリート・普通コンクリートともに従前以上に納入予定精度の向上が不可欠になる為、従前にも増して出荷予定変更やキャンセルの削減をお願いする。

以上について、関係各位の皆様には本事情をご賢察頂き、ご高配を賜りますようお願い致します。

## 繋がっていく 親子の飛翔

近藤 政弥

今年2月のミラノ・コルティナ2026 オリンピックは大変盛り上がりしましたね。

日本代表選手の活躍にも大変感動しました。

中でもオリンピック純ジャンプで大活躍した二階堂蓮選手は、同じ中学の後輩であった二階堂学氏の息子さんと、オリンピックという大舞台での活躍の様子をととても嬉しく拝見しました。

五十年近く前の話になりますが、旭川出身の自分も中学までノルディック複合競技(コンバインド)をやっていて最高成績は全道大会15位でした。

当時の旭川には、札幌や小樽のようなジャンプ少年団などはなく、コーチも不在で先輩達のまねをしながら我流で練習していました。

昔のジャンプ競技(1976-78年頃)ではアプローチの姿勢がフォアハンドスタイルでしたが、1977年に東ドイツのアッシェンバッハ選手が初めてバックハンドスタイルを採用しました。(当初アッシェンバッハスタイルと呼ばれた)この姿勢は無駄な力が入らないという理由などからほぼ世界中の選手もすぐに採用したと記憶しています。また、空中の姿勢もスキー板を開かず平行に保ったまま前傾をかけて飛ぶ姿勢が高得点であり、現



昭和54年1月  
全道大会

地元旭川の  
嵐山シャンツェ

在のV字飛行では飛型点が減点されるルールでした。

設備面でもリフトはどこのジャンプ競技場にも無く重たいジャンプ用のスキーを担いで登るのが苦痛でした。ヘルメットも無く毛糸の帽子で飛んでいました。

二階堂学氏は恵まれない環境で育ちながらも社会人になって国際大会で活躍していました。旭川出身のジャンプ選手で彼ほど活躍した選手はいないと思います。

二人三脚で努力を重ね、親子二代で勝ち取った銅、銅、銀メダル奪取に深く感銘を受けたと同時に最大級の敬意をはらいたいと思います。

男子スーパーチームでは不運な結果となりましたが次回のオリンピックで是非リベンジしてくれることを期待しています。

(むさしの生コン(株))

代表取締役社長)



昭和54年  
2月の  
道北大大会

## 2025年度「共販・経営者セミナー」開催 全生連関東 I 区地区本部・東京都工組

全国生コンクリート工業組合連合会関東 I 区地区本部と東京都生コンクリート工業組合は、2月20日(金)に都内のホテルにおいて2025年度の共販・経営者セミナーを共同開催しました。

冒頭、主催者を代表して挨拶された斎藤本部長は関東 I 区の生コン業界の重点課題として、(1)需要開拓 (2)適正価格の獲得 (3)人材確保 の3項目について触れられ、引き続き、今回は一級建築士でコンクリートの造形に造詣が深い鳴沢晴美(なるさわ はるみ)氏が講師として招かれ、「コンクリートが切り拓く未来」の演題で講演をされました。鳴沢氏は東京造形大学を卒業後に清水建設(株)に入社され、設計部勤務を経て建築研究所を主催され、独立後は海外のコンクリート事情にも精通されております。

講演では古代ローマ時代のコンクリート建造物の紹介に始まり、現代の時代の社会状況の移り変わりに応じた建築事情の解析を経て、「未来を切り拓くプロジェクト」の内容説明が有りました。

その中で「施工の革新」、「技術と美学の刷新」、「自然との共生」、「長寿命化と維持管理」の4つのテーマ毎にそれぞれ象徴的な建造物を全世界的に次々に映像を用いて紹介され、無鉄筋コンクリートやCO2削減に繋がる建築工法についても言及されております。

講演は鳴沢氏のグローバルな視点からの激みない語り口で時間を余すことなく進められ、盛況のままに閉会しました。

## 2026年 関東 I 区 各工組・協組 通常総会開催日程

5月11日から5月28日の間に、関東 I 区各工組・協組の通常総会が下記のとおり開催される予定です。

組合名	改選期	総会開催日	時間	組合名	改選期	総会開催日	時間
東京地区協組	×	5月25日(月)	12:30~	秩父地区協組	○	5月21日(木)	11:00~
三多摩協組	○	5月26日(火)	17:00~	千葉西部協組	×	5月19日(火)	17:00~
東関東協組	○	5月27日(水)	14:00~	千葉中央協組	○	5月20日(水)	16:00~
玉川協組	○	5月27日(水)	15:00~	千葉北部協組	○	5月28日(木)	16:00~
神奈川協組	×	5月22日(金)	12:30~	千葉県総協組	×	5月11日(月)	16:30~
湘南協組	○	5月28日(木)	14:00~	【工業組合】			
横須賀地区協組	○	5月27日(水)	16:00~	東京都工組	×	5月25日(月)	15:00~
神奈川西部協組	○	5月25日(月)	17:00~	神奈川県工組	×	5月22日(金)	15:00~
埼玉中央協組	○	5月21日(木)	15:00~	埼玉県工組	×	5月28日(木)	15:00~
埼玉県北部協組	○	5月27日(水)	16:30~	千葉県工組	×	5月22日(金)	15:30~

## 周辺協組 2025年度 出荷実績

(実績: m<sup>3</sup>、前年比: %)

	東京		東関東		三多摩		玉川		神奈川		埼中		千葉西		千葉中		千葉北		合計	
	実績	前年比	実績	前年比	実績	前年比	実績	前年比	実績	前年比	実績	前年比	実績	前年比	実績	前年比	実績	前年比	実績	前年比
上期計	1,101,498	84%	186,981	121%	332,575	89%	292,638	98%	503,739	101%	638,465	96%	259,696	100%	207,940	96%	156,229	106%	3,679,762	94%
下期計	1,070,657	88%	187,755	117%	369,114	102%	287,351	96%	486,294	99%	582,283	81%	243,896	100%	178,719	71%	96,688	61%	3,502,756	90%
年度計	2,172,155	86%	374,735	119%	701,688	95%	579,989	97%	990,033	100%	1,220,748	88%	503,592	100%	386,660	83%	252,916	83%	7,182,518	92%
契約残高	4,138,143		250,577		709,532		434,559		774,071		965,437		414,851		252,650		154,962		8,094,783	

## わが社のじまん話

当社の創業こそ葛飾区堀切でしたが、現在の大井工場は昭和55年に移転いたしました。

操業当時は人工島ということもあり東京の端の端で、工場の両隣は砂浜で台風一過の際にはクラゲで埋め尽くされておりました。大森駅も砂利道で小さなパン屋が一軒あるだけでしたが、現在の城南島は「城南島海浜公園」「ART FACTORY 城南島」などもあり、太田市場・野鳥公園・キャンプ場・ドッグラン・潮干狩りなど郊外レジャースポットの趣があり都民の憩いの場、ひいては従業員の周辺環境は年々変わってきております。難点としては、やはり通勤時間がネックとなります。けれども生コンクリート工場が多数ある区画ですので、いつか共同で通勤手段の確保ができれば、と考えております。

さて、「わが社のじまん話」というお題ですが、現社長の父の代から技術面での進取精神を持ち社員一丸となって邁進してまいりました。けれども、昨今の技術革新とそれに伴う費用の増大は専門メーカーにとり厳しくなっていく次第でもあります。ですので、わが社の自慢は二世が多い事をアピールさせていただき、現在進行形で親子一緒に働いているケースも複数ありまして、企業文化の良さや安定性を象徴しているのではないのでしょうか。

## 桐生レミコン株式会社

具体的には

1. 「自分の子供にも勧めたい」という高い信頼性

親が子供に、当社を勧められるのは、その会社が心理的に安全で、やりがいのある環境であることの証明。離職率が低く、長く腰を据えて働ける土壌があることを示唆します。

2. 技術や文化の自然な継承

親子で同じ職場にいて、数値化できない「職人技」や「企業理念(スピリット)」が日常の会話や背中を通じて自然に受け継がれやすくなります。これは製造業や地場産業において、強力な組織の武器となります。

3. アットホームで風通しの良い組織

二世が多い組織は、公私の区別をガチガチに固めるよりも、大家族のような一体感を大切にする傾向があります。新しく入った社員も、その温かい輪に迎え入れられやすい雰囲気を持っていることが多いです。

でも悲しいかな、昨今はなかなか人材募集に苦労しております。苦しい中ではありますが給与・賞与のアップはもちろん、社員が「自分の身内に一番に勧めたい」と思える会社は、外部から見て魅力的なホワイト企業であることを更に突き詰めて行きたいと思っております。

	(出荷数量)				(引合、成約、契残)			
	3月(実績)		4月(想定)		3月(実績)			
	前年比	前年実績比	前年比	前年実績比	引合	成約	契残	前年比
大型	170,311 m <sup>3</sup>	101.5%	170,000 m <sup>3</sup>	94.9%	引合	432,280 m <sup>3</sup>	48.6%	
小型	22,166 m <sup>3</sup>	95.7%	20,000 m <sup>3</sup>	89.9%	成約	356,095 m <sup>3</sup>	48.2%	
計	192,476 m <sup>3</sup>	100.8%	190,000 m <sup>3</sup>	94.3%	契残	4,138,143 m <sup>3</sup>	103.3%	